

茨城の再生可能エネルギー開発を 主導する人材養成プログラムの構築

〒310-8512
茨城県水戸市文京2丁目1-1
電話:029-888-8590
E-mail:info@ren-ibaraki.jp
https://www.ren-ibaraki.jp



ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発



現地研修の様子

人材養成修了者	35人
入門講座受講者	63人
今年度計画の達成度	100%
活動の全体目標に対する達成度	90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

運営側の人材不足が大きな課題で、プログラム運営に苦労した。このため、具体例による養成プログラムを編成して、経験の積み上げや主体性を喚起する活動を展開できなかった。

■ 工夫した点

運営のために連携体制を整備し、会場の手配簡素化・経費削減、資金確保ができるようにした。さらに、この連携体制を活用して、多様な分野の専門家等からなる延べ25人の講師招聘を円滑に進めるようにした。

課題

茨城県では、地域主体の再生エネ開発を企画・推進・支援する人材が圧倒的に不足し、地域主導の開発に貢献できる人材養成が求められている。

目標

茨城県内の地域主導の再生エネ開発促進のために、官学民連携体制を構築し、県民理解を促すとともに、県内で圧倒的に不足している開発を推進できる専門の人材を養成する。

活動内容と成果

官学民の実施体制を整え、再生エネ開発の必要性の周知とともに、県内において再生エネ関連の施策展開、再生エネ利用促進に貢献できる人材を増加させるために、自然エネルギー入門講座と再生エネ開発を主導できる人材(いばらき自然エネルギー開発コーディネータ)養成のプログラムを編成・実施した。10人の市町村の職員を含む延べ35人の専門の人材養成プログラム修了者を輩出した。取り上げたテーマは太陽光発電・熱、小水力、地中熱などの7種類の技術と政策・ファイナンス関連で、5種類以上の技術資料等をWeb上に公開した。



現地研修セミナーの様子

全助成期間の活動を振り返って

大学、県を巻き込んだ人材養成プログラムの連携運営体制を整えることで、組織的なネットワーク拡充ができたこと、10市町村からの受講者を中心として行政との連携も可能となったこと/自然エネルギー利用に関心をもつ県内市町村の職員を増やすことに貢献できたことは、大きな成果であったと考えている。ただし、より実践的な人材養成の内容を組み込めなかったところに反省点がある。



施設見学の様子

今後の展望

助成活動を通して拡充することができた産官学民にわたる県内の自然エネルギー関係者とのネットワーク及び人的資源を活用して、第一に資金および人材の不足を解消できる運営体制改善を進め、第二に取り組みが充分とは言えなかった実務的な人材養成を、具体的な実践課題の対象を選定して行えるようにしたい。